慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	青柳文雄教授 主要著作目録
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1976
Jtitle	法學研究 : 法律・ 政治・ 社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.49, No.1 (1976. 1) ,p.229- 236
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19760115-0229

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

青柳文雄教授　主要著作目録

【著　書】

昭和二三年
新刑事訴訟法要綱　東洋書館

昭和二四年
刑事訴訟法通論　立花書房

昭和二六年
増訂刑事訴訟法通論　立花書房
犯罪の個数の訴訟法的考察　「司法研修所資料」四号所収　司法研修所

昭和二九年
全訂刑事訴訟法通論（上）（下）　立花書房

昭和三〇年
刑法各論　泉文堂

昭和三三年
証拠法の基本問題（上）エドムンド・M・モーガン（翻訳）
「法務資料」三四九号所収　法務大臣官房調査課

昭和三四年
証拠法の基本問題（下）エドムンド・M・モーガン（翻訳）
「法務資料」三五四号所収　法務大臣官房調査課

昭和三七年
新訂刑事訴訟法通論　上中下三冊、新訂版合冊　立花書房

昭和三八年
刑法通論Ⅱ　各論　泉文堂

昭和四〇年
刑法通論Ⅰ　総論　泉文堂

昭和四四年
犯罪とわが国民性　一粒社

昭和四七年

犯罪と証明　有斐閣

昭和四八年

続犯罪とわが国民性　一粒社

日本刑法論　成文堂

昭和四九年

刑事訴訟法入門　慶應通信

昭和五〇年

刑事裁判と国民性（機能編）　成文堂

【論　考】

昭和二四年

刑事訴訟規則について　法律新報七五三号

昭和二五年

黙否権の本質　警察学論集昭和二五年一二月号

昭和二六年

証明力を争う証拠と立証趣旨の転換　警察学論集昭和二六年二、三月号

現行刑訴の控訴審における事実の取調　法曹時報三巻一二号

昭和二七年

新刑事訴訟法の改正について（座談会）　法律新報七六〇号

事実認定の難しさ　研修四九号

共同審判について　法曹時報四巻一二号

昭和二八年

英米法における故意・過失　法学研究二六巻九号

挙証責任　日本刑法学会編「刑事法講座」六巻所収　有斐閣

昭和二九年

心神喪失、心神耗弱の理論と実際（一）　法曹時報六巻一二号

昭和三〇年

心神喪失、心神耗弱の理論と実際（二完）　法曹時報七巻一号

フランスにおける犯罪少年及び虞犯少年の処遇　法学研究二八巻一一号、家裁判例月報七巻一一号

昭和三一年

自白の任意性と信用性　警察公論一一巻二号

準起訴手続について　法律のひろば九巻七号

刑事既判力の客観的範囲　垂水克己、兼子一等編『訴訟と裁判、岩松裁判官還暦記念』所収　有斐閣

上告審の手続及び裁判　団藤重光編「法律実務講座刑事編」一一巻所収　有斐閣

裁判批判の是非　警察公論一一巻一〇号

上訴審における自由心証の控制（一）（二完）　法曹時報八巻一〇号一一号

昭和三二年

刑訴の証拠に関する規定は改正すべきか　法律のひろば一〇巻三号

カトリックの刑罰観　法学研究三〇巻二号

自然法と死刑廃止論　世紀八五号

昭和三三年

伝聞法則における証拠能力と証明力　法学研究三一巻五号

いわゆる「暁に祈る」事件の上告審判決　ジュリスト一五七号

フランス刑事訴訟法改正草案（一）（二完）　法学研究三一巻九号一〇号

押収捜索許可状　綜合法学一巻七号

訴訟手続の瑕疵の治癒

佐伯千仞、団藤重光編「総合判例研究叢書（刑事訴訟法）」四巻所収　有斐閣

昭和三四年

期待可能性理論の実践的評価—不法監禁、暴力行為等処罰に関する法律違反被告事件の最高裁第三小法廷判決について—　法律のひろば一二巻一号

刑法の諸機能の具体的定立　法曹時報一一巻三号

捜査における当事者主義の限界　警察学論集一二巻四号

不作為犯、過失犯における刑法の保障的機能　法学研究三二巻六号

〝広津評決〟の検討—広津和郎著「松川裁判」は真実を衝いているか—　ジュリスト一九四号の二

松川事件の最高裁判決について　法律のひろば一二巻一〇号

刑訴四四一条三号による破棄判決（一）（二）（三完）　判例時報一九八号一九九号二〇〇号

法の支配について　自由と正義一〇巻一一号

証拠法の理論と現実　警察学論集一二巻一二号

昭和三五年

新しい予審制度の検討　ジュリスト一九九号

供述の任意性—小島事件—　ジュリスト二〇〇号

公判中心主義の課題　法曹時報一二巻四号

事実の錯誤について　法学研究三三巻五号
陪審制、参審制についての一考察　上智法学論集四巻一号
準備草案第一一条から第一六条について　綜合法学二四号
捜査令状を発する司法官憲の法令審査権の有無—昭和三五年五月二日東京地裁刑事一三部の決定について—　法律のひろば一三巻七号
不動産二重売買と横領罪—共犯の不成立—　ジュリスト二一一号の二

昭和三六年

騒擾の概念の考察—最高裁の平事件の判決をめぐって—　警察学論集一四巻二号
伝聞証拠　綜合法学三四号
自由心証主義　法学セミナー六三号
文書の押収、捜索について　ジュリスト二三八号
控訴審における事実の取調—諏訪メモをめぐって—　法学教室一号
公平な裁判所の理念　法学研究三四巻八号
松川裁判のみかた　法律のひろば一四巻九号
松川事件の問題点—仙台高裁判決を中心として—　自由と正義一二巻一〇号
偽証罪の一考察　上智法学論集五巻二号
松川事件の捜査　警察学論集一四巻一一号
松川事件　警察公論一六巻一三号
門田判決の検討—〝門田判決〟は真実を衝いているか—　ジュリスト二三九号

昭和三七年

捜査段階の拘束　法律のひろば一五巻一号
現行犯概念の検討　警察学論集一五巻四号
自手犯についての若干の考察　上智法学論集六巻一号
財産犯についての二、三の問題　綜合法学五巻一二号
社会相当性についての実務的考察　法学研究三五巻一二号
昭和巌窟王再審事件の論争　法律のひろば一五巻一二号
控訴　日本刑法学会編「刑事訴訟法演習」所収　有斐閣

昭和三八年

旧刑訴事件の再審の準拠法—日本巌窟王事件—　判例評論五四号
刑事法における時効制度　綜合法学六巻二号
期待可能性についての若干の考察　上智大学編「伝統と創造」所収　上智大学出版部
弁護人の権限　法学教室六号
未必の故意の再検討　法曹時報一五巻五号
税法上の質問検査権と犯則調査　税経通信一八巻五号
再審制度について　法曹時報一五巻六号
訴訟の理想と現実（上）（下）　ジュリスト二七六号二七七号

麻薬犯罪と囮捜査　警察学論集一六巻七号
司法権と警察権の問題点　早稲田公論六三年一〇月号
松川事件最終判決　判例評論六二号
傾向犯について　法学研究三六巻四号
松川事件雑感　ジュリスト二八四号
司法権の予防作用　上智法学論集七巻一・二号
松川事件と弁護活動　自由と正義一四巻一一号
刑事警察の在り方　綜合法学六巻七号
疑わしきは罰せず　自由五巻一一号
裁判批判の限界（松川事件）　法曹時報三五巻一一号
証拠の集収と評価―松川事件を顧みて―　法律のひろば一六巻一一号
訴訟の促進と捜査　警察学論集一六巻一二号

昭和三九年

死刑存置論　法学研究三七巻一号
控訴審の構造　綜合法学七巻六号
自白の証拠能力　ジュリスト三〇〇号
上告審における自由心証の控制　刑法雑誌二・三・四号
責任無能力を理由とする無罪判決と刑事補償　判例時報三七八号
共犯理論と証拠法　植松正等編「現代の共犯理論　斎藤金作博士還暦祝賀」有斐閣所収
量刑の手続と判決前調査　日本刑法学会編「刑事訴訟法講座」二巻所収　有斐閣
上訴審の構造　日本刑法学会編「刑事訴訟法講座」三巻所収　有斐閣
刑事裁判における自由心証　佐伯千仞、団藤重光編「総合判例研究叢書（刑事訴訟法）」五巻所収　有斐閣

昭和四〇年

法廷秩序維持法の合憲性　別冊ジュリスト一号
択一的認定　別冊ジュリスト一号
実務刑法の見地から見た共犯―理論と立法―　ジュリスト三一三号
現代の犯罪と人間像　世紀一七七号
捜査構造論とその批判　研修二〇〇号
供述の任意性（小島事件）　別冊ジュリスト二号
司法試験法の改正について　法律のひろば一八巻四号
自由刑とわが国民性　法学研究三八巻四号
不動産二重売買と横領罪―共犯の不成立―　別冊ジュリスト三号
弁護人との接見交通について（捜査をめぐる諸問題）　警察学論集一八巻五号
独立教唆罪について　法学研究三八巻八号

証明―丸正事件をめぐつて―　判例タイムス一六巻一一号
犯罪の諸要素とわが国民性　刑法雑誌一四巻二号
八海事件の問題点　法律のひろば一八巻一〇号

昭和四一年

交互尋問の問題点　研修二一四号
刑事訴訟のある断面―カトリック者の立場から―　世紀一九三号
実体の形成とわが国民性―刑訴における―　上智法学論集一〇巻一号
法学教育とわが国民性　ジュリスト三五六号
手続の形成とわが国民性　法学研究三九巻一〇号
被疑者と弁護人との接見交通　警察学論集一九巻一一号
無過失の刑事責任　青木清相等編「過失犯―日沖憲郎博士還暦祝賀」所収　有斐閣

昭和四二年

少年法改正をめぐる論争の批判と提案　法律のひろば二〇巻一号
再審制度への疑問　判例タイムス一八巻四号
検挙前における犯人の心理―異常言動の考察―　警察学論集二〇巻六号
訴訟の組織とわが国民性　法曹時報一九巻八号
犯罪とわが国民性　法学研究四〇巻一二号
起訴されざる事実と量刑　ジュリスト三七三号

昭和四三年

財産罪とわが国民性　警察学論集二一巻一号
集団暴力犯罪についての一考察　研修二三五号
手続と実体に関する資料―殺人罪・傷害致死罪について―　上智法学論集一一巻二・三号
ピケと逆ピケの限界　法律のひろば二一巻五号
家庭裁判所を経由しない少年事件の起訴と非常上告　ジュリスト三九八号
業務上横領罪―その「業務」の意義をめぐつて（判例と学説・刑法）　法学セミナー一五三号

昭和四四年

手続と実体に関する資料―強盗、恐喝、詐欺罪について―　ジュリスト四一七号
多数被告事件に関する立法問題　法律のひろば二二巻四号
訴因の機能　法学研究四二巻五号
刑事訴訟の理論と現実　研修二五二号
国外犯について　法学研究四二巻七号
刑罰とわが国民性　刑政八〇巻一〇号

昭和四五年

いわゆる別件逮捕と報道　判例時報五七九号
礼拝所及び墳墓に関する罪―その日本的特色について―　研修二六五号
手形の偽造と虚偽記入　別冊ジュリスト二七号
担保に入れた国鉄年金証書の騙取と詐欺罪　別冊ジュリスト二七号
事後審の理論と実際　法曹時報二二巻一一号
責任論への国民性の投影　法学研究四三巻一一号

昭和四六年

訴追委・公選法問題と野党　前衛三一八号
違法観の日本的特色　法学研究四四巻三号
法廷秩序維持法の監置の合憲性　別冊ジュリスト三二号
共犯と集団犯（一）（二完）　研修二七三号二七四号
道交法とデモ規制―佐世保原潜―　別冊ジュリスト三三号
常習犯か常習犯人か　研修二八〇号
控訴審における事実判断
鴨良弼等編「刑法と科学　法律編　植松博士還暦祝賀」所収　有斐閣

昭和四七年

刑の一般的基準―国民性から考えて―　罪と罰九巻二号
自白における理論と実際　法律のひろば二五巻一号
業務上過失致死傷罪―特にその日本的特色について―　法曹時報二四巻二号
共犯における日本的特色　法学研究四五巻五号
判例から見た中止犯　警察学論集二五巻六号
控訴審における職権調査の範囲　ジュリスト臨時増刊七月一〇日号
訴訟における甘えの構造　法学研究四五巻八号
英米法における公訴の提起―大陸法との比較において―　法学研究四五巻一二号

昭和四八年

岩田誠著「ある裁判官の思索と意見」を読んで　判例時報六八九号
交通事件受刑者についての訴訟手続の意識調査　ジュリスト五二九号
幇助の可罰性　法学研究四六巻五号
「いつそ」の論理と未必の故意　研修二九九号
刑事手続と基本的人権　法律のひろば二六巻五号
起訴されざる事実と量刑
ジュリスト増刊昭和四一・四二年度重要判例解説
家庭裁判所を経由しない少年事件の起訴と非常上告
ジュリスト増刊昭和四一・四二年度重要判例解説
自殺と法律　世紀二七八号

判例に現われた余罪の理論　警察学論集二六巻八号
刑事手続論—大陸型と英米型の調和の試論—　法曹時報二五巻八号
東洋的道義と西洋的倫理—刑法の背後にあるもの　法学研究四六巻一〇号

昭和四九年

内観法と国民性—特に刑法、刑訴法の見地から—　法学研究四七巻一号
わいせつ罪について　世紀二八六号
法律上の自白と宗教上の告白　世紀二八七号
違法に集取した物の証拠能力　警察学論集二七巻五号
糺問的捜査観と弾劾的捜査観　研修三一二号
被疑事実の告知と黙否権の告知　警察学論集二七巻六号
わが刑事訴訟法における生理と病理（上）（下）　法曹時報二六巻六号七号
現行刑事訴訟法と再審制度　刑法雑誌二〇巻一号
刑法の基本原理—罪刑法定主義・責任主義—　法律のひろば二七巻九号
刑事訴訟における当事者主義極端化への疑問—最高裁判例を中心として—（上）（下）　ジュリスト五六九号五七〇号
刑事手続特に上訴制度と刑罰観　法学研究四七巻九号
交通事犯と犯罪の個数　判例時報七五三号
鑑定と検証—英米法と大陸法の差異—　警察学論集二七巻一一号

昭和五〇年

刑事裁判の確定力　法学研究四八巻一号
故意犯受刑者の訴訟手続の意識調査　ジュリスト五八四号
英米型審理と大陸型審理—日本型審理の探究—（上）（下）　法曹時報二七巻六号七号
自首と自白　時の法令八九八号
刑事司法における正義と刑事司法による正義　警察学論集二八巻九号
供述証拠についてのイギリス法とアメリカ法　法学研究四八巻八号
素人裁判官の心証と玄人裁判官の心証　研修三二七号
現行犯概念の展開　警察学論集二八巻一一号